

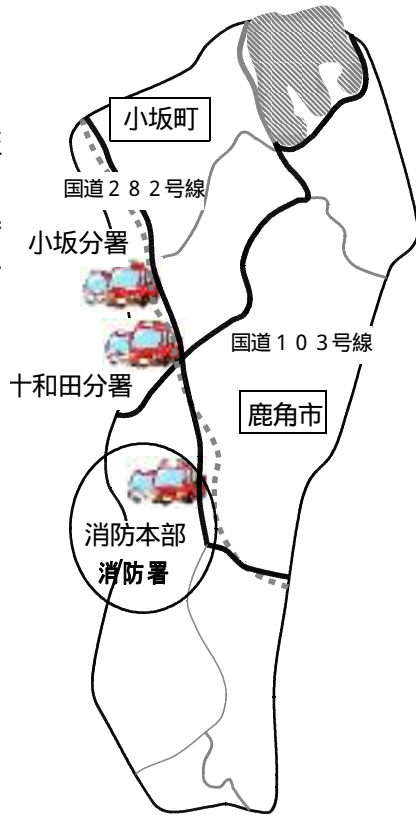
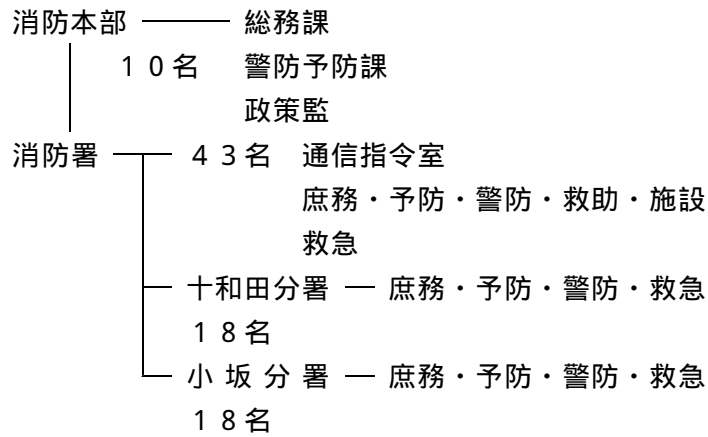


鹿角広域行政組合消防署 消防署の概要

【 鹿角広域消防の歩みと組織 】

平成6年に鹿角市と小坂町との一部事務組合に消防・救急業務を加えた鹿角広域行政組合が発足し、現在に至ります。

鹿角広域行政組合消防本部及び消防署の職員は全員で89名です。そのうちの44名がこの消防署で勤務しています。



【 担当の業務内容 】

庶務

職員勤務態勢の作成や、消防署の行事作成に関する業務。

警防

災害の警戒及び防止の計画。

各種災害に対応するための訓練実施。

火災時に使用する消防水利の調査・保守管理。

消防団員の教養訓練。

救助

行方不明者の捜索に関する業務。

救助隊に関する業務。

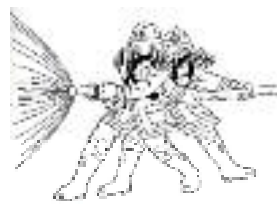
予防

人が多く集まる場所・建物の立入検査。

災害の予防広報。

火災の原因を究明し、防止対策を講じ、発生を防ぐ火災原因調査。

危険物に関する業務。



訓練



立入検査

施設

災害に備えての消防車両・機械器具の整備・保守管理。

機械操作技術の指導に関する業務。

救急

救急講習会等の計画・実施。

救急資機材の点検・消毒

職員の救急技術向上のための訓練・研修会等の計画・実施。

通信指令室

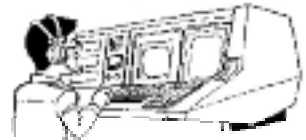
119番通報の受付及び出動指令。

災害時の出動隊との無線交信、関係機関への連絡。

通信機器の保全、気象・災害・医療情報の収集等の業務。



救急訓練



119番通報の受付

【 出動内容 】

消防業務は「災害から人や財産を守る」ことです。その為、各種の災害に出動します。

火災出動～火災現場に出動し、消火・鎮圧する。

救急出動～急病人や負傷者に応急処置しながら医療機関に搬送する。

救助出動～災害・事故等で下敷き、あるいは挟まれたりして脱出できない人を救出する。

捜索出動～山菜採り等で発生した行方不明者を捜索する。

風雪害の出動～台風・豪雪・集中豪雨・洪水等の被害を防除・軽減する。



平成20年の災害活動件数

火災出動	救急出動	救助出動	捜索出動	災害出動
26件	1,344件 1日平均3.7件	34件	7件	17件

【 24時間の勤務時間の流れ 】

時間	業務内容
8:30～	点検・引継ぎ・日課打合せ
9:00～	機械器具点検・諸作業
10:00～	教養訓練・担当事務
12:00～	昼食・休憩
12:45～	教養訓練・担当事務・諸作業
16:30～	機械器具点検・清掃
17:00～	夕食・休憩・担当事務・教養・体力訓練
19:00～	担当事務・教養・体力訓練・仮眠（交代で）
7:00～	機械器具点検・庁舎清掃
8:20～	引継交代準備

【 消防署の消防車両 】

水槽付ポンプ自動車
 消防ポンプ1号車
 消防ポンプ2号車
 化学車
 救急1号車
 救急2号車
 救助工作車
 広報車
 指揮車
 本部広報車
 消防団広報車
 防火広報車

合計 12台



【 消防団 】

消防本部及び消防署と並ぶ市町村の消防機関の一つ。郷土愛護の精神に基づいて有志により組織され、主に火災の警戒・鎮圧・災害の被害軽減に従事している。また、火災予防・警備警戒・教育訓練活動、機械器具等の点検等も行っています。

消防団員の皆さんは、本業を持っているにもかかわらず、地域住民の安全のために消防団活動を行っています。

消防団員数	
鹿角市	小坂町
806人	171人



消防団員の活動の様子

【 火災時の対応 】

学校や身の回りで火災が起きてしまったとき、どうすればよいか？

助けを呼び、素早く119番通報

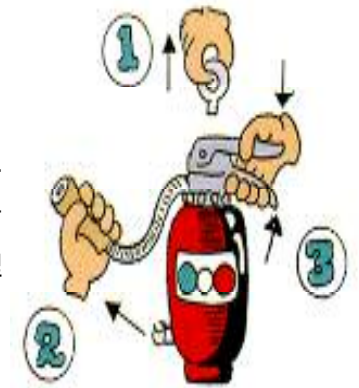
大声で火災が起きたことを周囲に知らせ、落ち着いて119番通報します。

素早く火を消す

初期消火が肝心です。被害が大きくなる前に消火器や水バケツで消火します。濡らした雑巾があれば火元にかぶせる事も有効な消火手段です。ただし、消えそうにない場合は絶対に無理をしてはいけません。

避難する

ハンカチ等で口鼻をおおい、できるだけ低い姿勢で煙を吸い込まないように避難します。



消火器の操作方法

【 消防用水利 】



防火水槽



消火栓

鹿角管内の消防用水利数

防火水槽	消火栓
322基	694本

消火活動の際に無くてはならない水は、消防で管理している消火栓・防火水槽の他に、プール・河川・池・湖など使える物は有効に活用します。

消火栓・防火水槽は災害時に使用できるように常に点検・調査しています。

防火水槽 ～ 常に40トンの水を貯蔵しており、ポンプ車で水を吸い上げて消火活動に使用します。

消火栓 ～ 水道管につながっておりハンドルを操作してポンプ車に水を送り込み消火活動に使用します。

【 急病や事故等の対応 】

誰かが急に倒れたときや交通事故の現場に居合わせた時、どうすればよいか？

助けを呼び、素早く通報

倒れた人に近づいて意識があるか確認し、意識がなければ大声で助けを呼び119番通報してもらいます。事故の場合は火災の危険もあるのですぐに119番通報します。(危険な場合は近づかない！)

状態に合わせて応急手当

応急手当をします。呼吸がない場合、心肺蘇生法を行えばその人が助かる可能性があります。救命講習で心肺蘇生法を習っておけば役に立ちます。

